



平成 18 年 6 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）

平成 18 年 2 月 3 日

会社名 株式会社旅籠屋
 コード番号 4807
 本社所在地 東京都台東区寿3丁目3番4号
 問い合わせ先 責任者役職名 代表取締役社長
 氏 名 甲斐 真

グリーンシート銘柄
 本社所在都道府県 東京都

TEL (03) 3847-8858
 中間配当制度の有無 無

1. 平成 18 年 6 月期第 2 四半期の業績（平成 17 年 7 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。
 3. 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年第 2 四半期	159	(10.0)	17	(△12.8)	15	(△8.6)
17 年第 2 四半期	144	(26.0)	19	(38.9)	17	(24.9)

	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
18 年第 2 四半期	14 (△15.2)	2,503 09	2,200 78	8.7	3.8	9.8
17 年第 2 四半期	16 (35.0)	2,951 57	2,751 79	10.7	4.0	11.8

- (注) 1. 期中平均株式数 17 年 12 月期 5,620 株 16 年 12 月期 5,620 株
 2. 会計処理の方法の変更 無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

(2) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭
18 年第 2 四半期	396	168	42.4	29,968	91
17 年第 2 四半期	439	163	37.2	29,154	49

- (注) 期末発行済株式数 17 年 6 月期 5,620 株 16 年 6 月期 5,620 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18 年第 2 四半期	24	57	△37	61
17 年第 2 四半期	33	△9	1	34

2. 平成 18 年 6 月期の業績予想（平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金		
				中 間	期 末	
通 期	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
	304	11	8	-	0	0

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 1,423 円 49 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

第 12 期

第 2 四半期報告書

(平成 17 年 10 月 1 日から平成 17 年 12 月 31 日まで)



平成 18 年 2 月 3 日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

I 四半期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度 第2四半期 H16.10.1~ H16.12.31	前年度 第3四半期 H17.1.1~ H17.3.31	前年度 第4四半期 H17.4.1~ H17.6.30	当年度 第1四半期 H17.7.1~ H17.9.30	当年度 第2四半期 H17.10.1~ H17.12.31	当年度 累計 H17.7.1~ H17.12.31	前年同期比	前年度 累計 H16.7.1~ H16.12.31
	I 営業収益	売上高	55,705	52,532	66,668	97,650	61,412	159,062	+10.0%
II 営業費用	売上原価	48,756	47,982	52,103	59,082	57,654	116,736	+12.9%	103,393
	販売費及び一般管理費	11,043	10,306	12,763	12,051	12,940	24,991	+17.3%	21,301
	営業利益または営業損失(▲)	▲4,094	▲5,756	1,801	26,516	▲9,181	17,334	▲12.8%	19,870
III 営業外収益		100	70	84	111	32	143	▲39.4%	236
IV 営業外費用		1,453	2,063	1,434	904	934	1,839	▲38.5%	2,989
	経常利益または経常損失(▲)	▲5,447	▲7,750	451	25,722	▲10,084	15,638	▲8.6%	17,118
V 特別利益		—	—	—	—	—	—	—	—
VI 特別損失		—	—	—	210	—	210	—	—
	税引前四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲5,447	▲7,750	451	25,512	▲10,084	15,428	▲9.9%	17,118
	法人税、住民税及び事業税	265	265	1,926	680	680	1,361	+156.3%	531
	四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲5,712	▲8,015	▲1,474	24,832	▲10,764	14,067	▲15.2%	16,587
	前四半期(前期)繰越損失(▲)	▲130,639	▲136,351	▲144,367	▲145,842	▲121,009	▲145,842	(—)	▲152,939
	四半期(当期)未処理損失(▲)	▲136,351	▲144,367	▲145,842	▲121,009	▲131,774	▲131,774	(—)	▲136,351
	期中平均株式数	5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株	—	5,620 株
	1株当たり四半期(当期)純利益または純損失(▲)	▲1,016 円	▲1,426 円	▲262 円	4,418 円	▲1,915 円	2,503 円	▲448 円	2,951 円
	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益(注1)	—	—	—	3,917 円	—	2,201 円	▲550 円	2,751 円

(注1) 前年度第2四半期から第4四半期および当年度第2四半期については、最終損益が損失となるため記載を省略しております。

(2) 部門別内訳 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

本社	売上高	2,495	358	10,805	5,247	1,698	6,946	+135.2%	2,953
	経常損益	▲9,038	▲11,195	▲2,539	▲7,396	▲11,880	▲19,277	▲0.3%	▲19,335
鬼怒川店	売上高	8,142	7,694	8,281	14,366	8,340	22,707	▲2.9%	23,375
	経常損益	748	863	795	5,773	1,067	6,840	+4.0%	6,578
	客室稼働率	49.5%	47.4%	50.1%	61.8%	53.5%	57.7%	▲0.4 p	58.1%
那須店	売上高	5,990	5,410	6,436	11,112	6,535	17,647	▲0.5%	17,728
	経常損益	518	302	577	5,258	1,094	6,352	+8.7%	5,842
	客室稼働率	59.3%	51.9%	60.6%	78.4%	66.2%	72.3%	+0.4 p	71.9%
秋田六郷店	売上高	3,588	2,748	4,327	5,909	2,978	8,888	▲10.3%	9,913
	経常損益	▲663	▲1,410	▲440	1,325	▲1,333	▲7	▲100.8%	927
	客室稼働率	50.6%	38.1%	51.3%	56.6%	41.7%	49.1%	▲9.6 p	58.7%
山中湖店	売上高	8,213	7,526	8,059	14,290	8,374	22,664	▲0.5%	22,774
	経常損益	1,896	1,765	1,569	6,607	1,605	8,213	▲10.7%	9,195
	客室稼働率	64.5%	58.3%	66.3%	87.2%	72.4%	79.8%	+3.1 p	76.7%
沼田店	売上高	6,707	7,640	5,938	8,500	6,947	15,448	▲0.2%	15,478
	経常損益	1,157	1,787	▲61	2,752	599	3,352	▲11.7%	3,798
	客室稼働率	78.3%	83.4%	72.3%	82.5%	80.4%	81.5%	▲0.3 p	81.8%
水戸大洗店	売上高	6,099	6,362	6,030	9,820	5,554	15,375	▲6.3%	16,411
	経常損益	828	895	509	3,979	235	4,214	▲19.8%	5,252
	客室稼働率	73.0%	75.7%	71.2%	80.1%	64.1%	72.1%	▲6.9 p	79.0%
北上店	売上高	3,881	3,900	5,022	7,911	4,704	12,615	+25.3%	10,069
	経常損益	▲1,061	▲904	▲420	2,505	▲717	1,787	+690.7%	226
	客室稼働率	48.8%	49.6%	62.7%	80.3%	61.4%	70.8%	+17.6 p	53.2%
仙台亘理店	売上高	4,707	4,869	5,441	7,414	5,298	12,712	+10.2%	11,533
	経常損益	▲371	▲315	▲352	1,959	▲156	1,802	+86.9%	964
	客室稼働率	62.9%	71.9%	65.2%	63.8%	65.9%	64.9%	▲2.8 p	67.7%
小淵沢店	売上高	5,879	6,021	6,325	9,622	6,476	16,098	+12.4%	14,328
	経常損益	538	461	814	3,716	667	4,384	+19.5%	3,669
	客室稼働率	74.6%	77.5%	82.5%	85.9%	77.4%	81.7%	+5.7 p	76.0%
前橋南店	売上高(運営受託料)				3,454	2,990	6,445	—	—
	経常損益				▲563	▲422	▲985	—	—
	客室稼働率				51.5%	61.8%	56.7%	—	—
九十九里店	売上高				—	1,513	1,513	—	—
	経常損益				▲20	▲804	▲824	—	—
	客室稼働率				—	45.4%	45.4%	—	—
東京新木場店	売上高				—	—	—	—	—
	経常損益				▲175	▲40	▲215	—	—
	客室稼働率				—	—	—	—	—
全社合計	売上高	55,705	52,532	66,668	97,650	61,412	159,062	+10.0%	144,566
	経常損益	▲5,447	▲7,750	451	25,722	▲10,084	15,638	▲8.6%	17,118
	客室稼働率	61.7%	60.6%	63.8%	72.4%	63.5%	67.9%	▲0.7 p	68.6%

(3) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目		期別	前年度 第2四半期末 H16.12.31	前年度 第3四半期末 H17.3.31	前年度 第4四半期末 H17.6.30	当年度 第1四半期末 H17.9.30	当年度 第2四半期末 H17.12.31
(資産の部)	I 流動資産						
	現金預金		34,871	33,259	17,371	36,057	61,023
	その他		6,238	6,389	8,210	39,051	27,343
	流動資産合計		41,110	39,649	25,581	75,108	88,366
	II 固定資産						
	有形固定資産		378,551	373,849	369,490	271,447	270,636
	無形固定資産		1,534	1,387	1,239	1,410	2,837
投資その他の資産		18,783	18,767	25,216	35,022	34,922	
固定資産合計		398,869	394,003	395,945	307,880	308,396	
資産合計		439,980	433,652	421,527	382,989	396,763	
(負債の部)	I 流動負債		11,235	11,008	59,728	49,877	68,604
	II 固定負債		264,896	266,811	207,442	153,922	159,733
	負債合計		276,132	277,819	267,170	203,799	228,337
(資本の部)	I 資本金		281,000	281,000	281,000	281,000	281,000
	II 資本剰余金						
	資本準備金		19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
	III 利益剰余金						
	四半期(当期)未処理損失(▲)		▲136,351	▲144,367	▲145,842	▲121,009	▲131,774
資本合計		163,848	155,832	154,357	179,190	168,425	
負債資本合計		439,980	433,652	421,527	382,989	396,763	
発行済株式総数		5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株	5,620 株	
1株当たり純資産		29,154 円	27,728 円	27,466 円	31,884 円	29,969 円	

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 重要な会計方針」をご参照ください。

事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

なお、当該四半期の貸借対照表および損益計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

(5) 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産 定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物：17～18年、構築物：15～20年、車両運搬具：4～6年、工具器具備品：3～8年
 - (2) 無形固定資産 定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しています。
 - (3) 長期前払費用 均等償却によっています。
2. リース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
3. 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

Ⅱ 第12期上半期（平成17年7月1日～平成17年12月31日）の業績の概況

(0) 本社

前年同期に比べ、新規出店契約にともなう企画調整費の増加によって売上が大幅に増えましたが、費用の増加（+17.3%、株式の譲渡制限撤廃にともなう新株券の印刷費と印紙税、サーバのホスティング費用、人件費の増加など）もあり、経常損失はほぼ同額となりました。

(1) 鬼怒川店

前年同期に比べ、稼働率（58.1→57.7%）売上高（▲2.9%）ともに減少しましたが、経常利益は微増（6,578→6,840千円）となりました。11月以降は前年を上回っており、通期での前年実績超過を目指しています。

(2) 那須店

前年同期に比べ、稼働率（71.9→72.3%）売上高（▲0.5%）経常利益（5,842→6,352千円）ともにほぼ横ばいです。

(3) 秋田六郷店

前年同期に比べ、稼働率（58.7→49.1%）売上高（▲10.3%）経常利益（927→▲7千円）ともに大幅に減少しました。例年がない降雪の影響もあり、通期での黒字転換は難しい見通しです。

(4) 山中湖店

前年同期に比べ、稼働率（76.7→79.8%）は上回りましたが、売上高（▲0.5%）は横ばいとなりました。ただし、7月1日に土地建物を売却して「所有直営店」から「借上直営店」になったため、支払家賃から減価償却費・支払利息の差額が費用の増加となり、経常利益は減少（9,195→8,213千円）しています。

(5) 沼田店

稼働率（81.8→81.5%）売上高（▲0.2%）経常利益（3,798→3,352千円）ともに微減しましたが、好調が続いています。

(6) 水戸大洗店

前年同期に比べ、稼働率（79.0→72.1%）売上高（▲6.3%）ともに減少し、経常利益も減少（5,252→4,214千円）しました。主な原因はビジネス客の減少によるものです。

(7) 北上店

稼働率（53.2→70.8%）売上高（+25.3%）経常利益ともに大幅に増加し、通期での黒字転換を目指しています。

(8) 仙台亘理店

前年同期に比べ、稼働率は（67.7→64.9%）は減少しましたが、客室単価の上昇により、売上高（+10.2%）経常利益（964→1,802千円）は大幅に増加しました。

(9) 小淵沢店

前年同期に比べ、稼働率（76.0→81.7%）売上高（+12.4%）経常利益（3,669→4,384千円）ともに順調に増加しました。

(10) 前橋南店

オープン当初の低調から脱しつつあり、半期での経常損失（▲985千円）の拡大を抑え、通期での損益均衡を目指します。

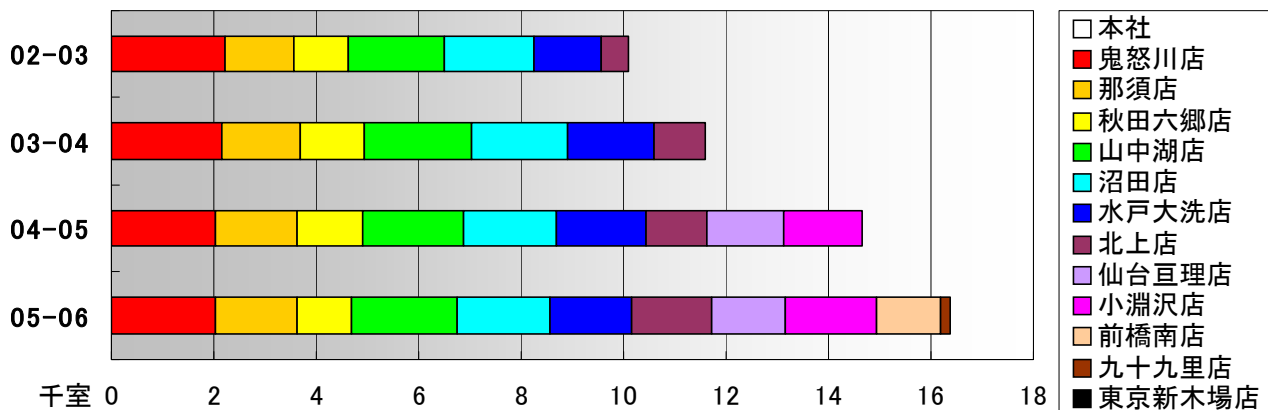
(11) 九十九里店

オープン直後としては堅調であり、経常損失（▲824千円）の拡大を抑え、通期での損益均衡を目指します。

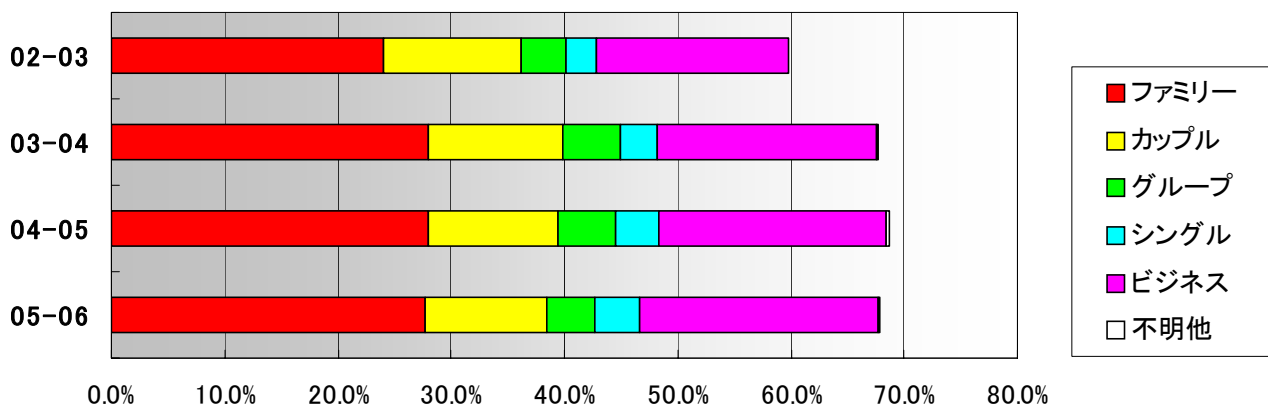
(12) 全社

既存9店舗では、稼働率（68.6→69.4%）売上高（+1.8%）ともに前年同期に比べ増加しましたが、経常利益は微増（+1.3%）にとどまりました。これは、雑誌広告の増加と前期の黒字転換によって賞与を加算したことなどによるもので、基本的な利益率は向上しつつあります。全社の売上高は、店舗数が増えたため増加（+10.0%）しましたが、経常利益についてはこれら新規店舗の赤字により前年同期を下回り（17,118→15,638千円）しました。開店費用の負担が終わり、稼働率が上昇した後は逆に利益の拡大に寄与する見通しです。

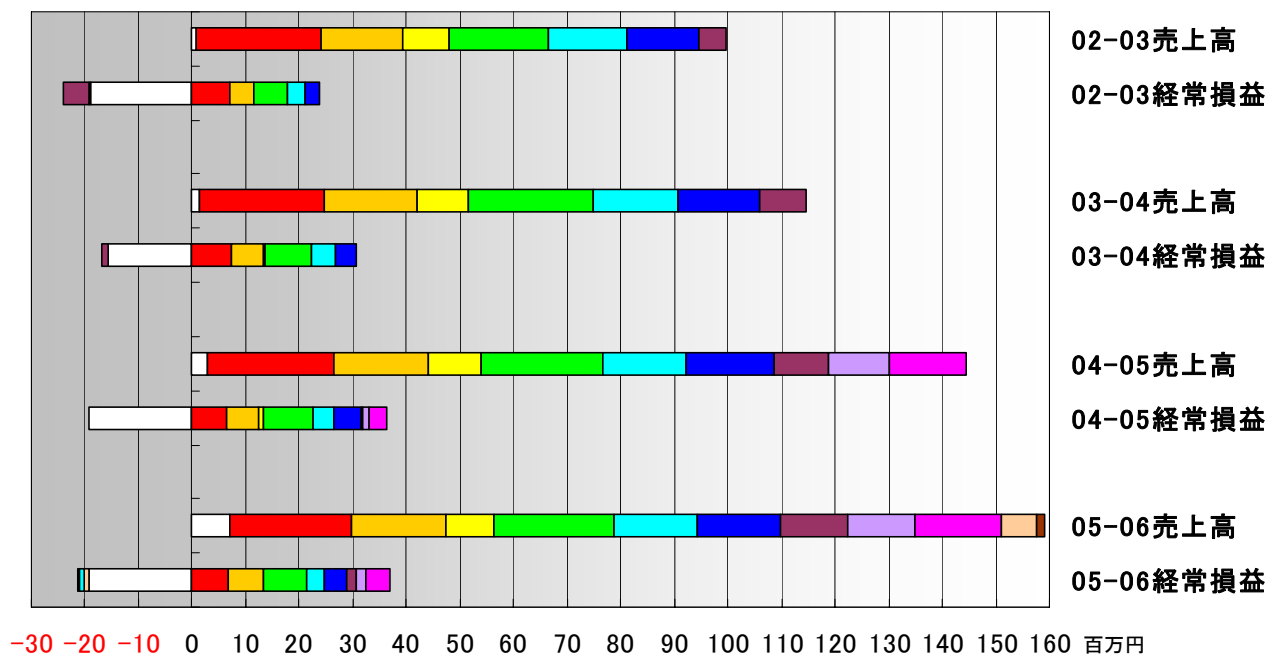
●利用客室数（全店合計、店舗別内訳）の推移（2005.7/1～2005.12/31）



●客室稼働率（全店通算、構成内訳）の推移（2005.7/1～2005.12/31）



●売上高・経常損益（全社合計、部門別内訳）の推移（2005.7/1～2005.12/31）



Ⅲ 第12期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第11期 通期実績 H16.7.1～ H17.6.30	第12期				
		第1四半期 実績 H17.7.1-9.30	第2四半期 実績 H17.10.1-12.31	第3四半期 予想 H18.1.1-3.31	第4四半期 予想 H18.4.1-6.30	通期予想 H17.7.1～ H18.6.30
売上高	263,767	97,650	61,412	60,000	84,938	304,000
経常損益	9,820	25,722	▲10,084	▲10,000	5,362	11,000
当期純損益	7,097	24,832	▲10,764	▲10,700	4,632	8,000

売上高についてはほぼ当初の予想通りですが、本社（株式の譲渡制限撤廃にともなう新株券の印刷費と印紙税、サーバのホスティング費用、人件費の増加）および既存店（広告宣伝費と賞与支給額の増加）の費用増に加え、新規店舗の赤字負担が重なったため、上半期の経常利益は当初の予想を大きく下回る結果となりました。

しかし、「前橋南店」「九十九里店」が軌道に乗りつつあり、3月15日オープン予定の「東京新木場店」の予約も着実に増えていることから、通期では前年度を超える利益を確保し、来期以降の飛躍を確実なものにしていきたいと考えています。

Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第11期 第3四半期 H17.1.1～3.31	第11期 第4四半期 H17.4.1～6.30	第12期 第1四半期 H17.7.1～9.30	第12期 第2四半期 H17.10.1～12.31
現金および預金の増減額		▲1,615	▲15,887	+18,686	+24,966
現金および預金の四半期首残高		34,871	33,259	17,371	36,057
現金および預金の四半期末残高		33,259	17,371	36,057	61,023

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第11期 第3四半期 H17.1.1～3.31	第11期 第4四半期 H17.4.1～6.30	第12期 第1四半期 H17.7.1～9.30	第12期 第2四半期 H17.10.1～12.31
短期借入金の増減額		—	—	—	—
短期借入金の四半期首残高		—	—	—	—
短期借入金の四半期末残高		—	—	—	—

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別	第11期 第3四半期 H17.1.1～3.31	第11期 第4四半期 H17.4.1～6.30	第12期 第1四半期 H17.7.1～9.30	第12期 第2四半期 H17.10.1～12.31
長期借入金の増減額		+2,727	▲16,073	▲60,621	+22,848
長期借入金の四半期首残高		263,975	266,702	250,629	190,008
長期借入金の四半期末残高		266,702	250,629	190,008	212,856

借入金の増加は、三井住友銀行からの借り換え（60百万円、2005年11月実行）および東京シティ信用金庫からの制度融資借入れ（5百万円、2005年12月実行）から約定返済を減じた差額によるものです。

V 今後の事業展開と出店計画について

11号「九十九里店」がオープン

12月1日、「九十九里店」が予定通りオープンしました。

12号「東京新木場店」のオープン日が決定

10月初めに着工し、現在建物建築中ですが、オープン予定日が3月15日に決まり、すでに3ヶ月前より予約の受付を開始しています。

なお、株主の方から場所がイメージしにくいのではないかとのご提案があり、店舗名を「新木場店」から「東京新木場店」に変更しました。



その他の出店計画

静岡県・掛川インター近くへの出店計画が内定し、1月には着工する予定でしたが、12月に入りオーナーより親族内での強い反対により白紙に戻したいとの申し出があり、残念ながら計画は中止となりました。なお、一部雑誌広告の店舗一覧図内に「掛川店」の記載がありますが、入稿後の突然の中止で変更が間に合わなかったことによるものです。

また、昨年夏以来、長野県内において出店計画を進めていますが、近隣より「格安ホテルは地域のイメージになじまない」との強い反対があり、協議を重ね計画内容の見直しを行ってきましたが、理解を得るに至っていません。残念ながら、これ以上の進展が見込めないため、本年夏前のオープンに向け、1月下旬には役所に必要な申請手続きを行いました。

今後、係争となる可能性もありますので、出店契約や日程は、見通しが明らかになった時点で決定し、発表する予定です。なお、計画は法的規制を十分にクリアしており、周辺への配慮は当然ながら合理性を欠く妥協をするつもりはありません。その他、高速道路サービスエリアへの出店を含め、引き続き、各方面との交渉を進めているところです。

アメリカ視察研修を継続

昨年末にスタートさせたアメリカのMOTEL視察旅行ですが、昨年の6月に続き12月に2店舗の支配人を派遣しました。

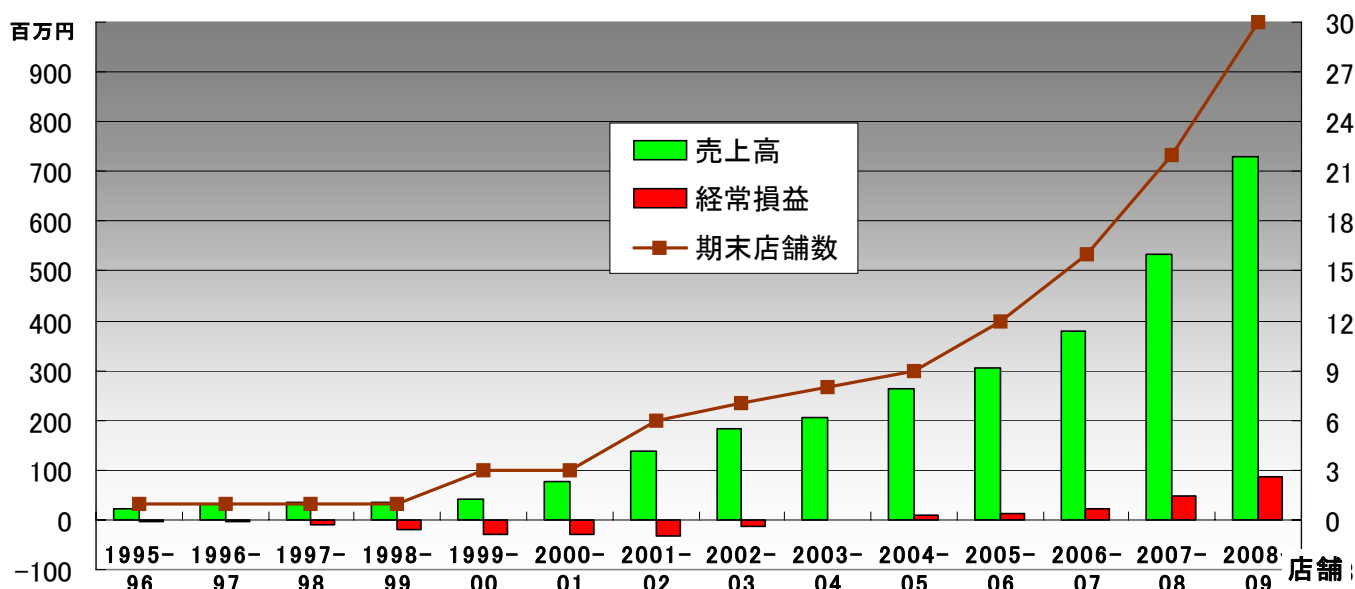
データベースサーバのホスティング実施

セキュリティ強化のため、サーバを社外のデータセンターに移設し、11月上旬より運用を開始しました。

中期的な事業見通し

過去の業績の推移および今後の見通し（2005-06以降）は、およそ以下のグラフのとおりです。

不確定な要素もありますが、この見通しを超えるペースで着実に事業を拡大したいと考えています。



以上